

「学びとは何か」

理科 中須賀久尚

1 はじめに

「学び」とはどういうことなのでしょう。とりあえず調べてみました。

提供: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

学び (英: learning, study, lesson) は、人間が何らかのものごとを新しく身に着けようとする営みのことである。「学び」という語は、「学習」の語と等しい意味で用いられることもある。

一方で、「学び」の語は、学習よりも**主体的かつ人間的な営み**を含む意味合いで用いられることも多い。「学び」と対になる用語には「教え」がある。学びは、学習のうち**中核的(コア)な過程**を指すこともある。

今宮高校の教育のモットーは、「感性に響く**学び**を求めて」です。「学習」の「学び」にこだわる今宮高校の一教員。失敗ばかり繰り返しながらも、ほんまものの「オモロイ」学びを追求しつつ、授業をしてきました。

今日は、私の授業で扱ってきた内容を織り交ぜながら、「学び」とは何か、何を学ぶことなのかを、一緒に考えてみたいと思います。



2 サクランボはなぜ赤い?

毎年、初夏になると、赤いピカピカのサクランボが果物屋さん並びます。では、どうして赤いのでしょうか。

「うーん、なるほど。じゃあ、柿は? 渋柿はなんで渋いの?」
というような新たな疑問が湧いてきます。



3 空はなぜ青い?

太陽からやってくる光は七色だといいますが、本当か覗いてみよう。曇り空でも結構くっきり見えますね。でも、本当は、わずかですが、もっともっと紫色や、もっともっと赤色の光もやっています。私たちの目には見えないのですが。

さて、空はなぜ青く見えるのでしょうか。

サクランボが赤いのも、空が青いのも、すべて理由があります。その理由を知ったとき、「なるほど」と思える瞬間があるのです。おもしろいのは、サクランボが赤い理由と、空が青い理由の考え方が全く違うように感じることです。でも、空が青いからサクランボが赤いということがわかるでしょう。

2つの考え方は、つながって互いに深め合っているのです。



4 形にも理由がある

サクランボが丸い理由はわかりますね。2つはすぐに気づきます。でも、私たちが想像もつかない理由がまだまだあるかもしれません。

では「空の形はどんな形?」と聞かれたら、どう答えればよいのでしょうか。私たちは、空をどんな形に見ているのでしょうか。

私たちが見ている空の形がわかると、西に沈む赤い夕日や、宵闇の東の空に浮かぶ満月が大きく見える理由もわかってしまいます。すると、今まで以上にじっと見てしまうかもしれません。

晩秋の朝、山の端から出た瞬間、その一筋の光もきれいですね。その感動をどう伝えればよいのでしょうか。



5 文字の形や発音にも理由がある

例えば、「土」はどうしてこのように記すのでしょうか。「時計」はどうして「トケイ」と発音するのでしょうか。

「赤(アカ)」「青(アオ)」「白(シロ)」「黒(クロ)」はどうしてそう発音するのでしょうか。



6 言葉をもつということ

ヒトは、言語という道具を持っています。もし、それはヒトだけが持つ道具であるならば、その理由もあるはずですが、考えてみてください。

その理由がなんとなくわかってきたとき、「ならば、黙らずに、思ったことや考えたことを言葉にして、どんどん伝えていこう!」と結論づけると、何を思いますか。



7 大切なこと(まとめ)

よく観察することが大事だと、小学校の理科の授業で習いました。動き回るアリを虫眼鏡で見たり、池の水を汲んできて顕微鏡で覗いたり、あるいは、望遠鏡で月の凸凹や土星の輪を見た人もいるかもしれません。

また、「この場合はこうなり、この場合はこうなる」と、1つ1つ分析していくことが大切だと、中学校の数学の授業で習いました。

でも、よく観察したり、分析したりすることは、理科や数学の範囲に留まらないのです。サクランボの例をみても、「学びとは、自分や自分以外のいろいろな人や、目にするあらゆる事物の気持ちがわかるようになるための営みである」ことがわかります。数学で習ったことは、実はそのときに役立ちます。

また、科学者が持つ細やかでシャープな観察力は、そのまま、古典や現代文の授業に登場する著名な作家や詩人の目であったり、数々の有名な作品を残した画家の目であったりします。言葉や絵の一筆一筆が、そこにある理由があるのです。

すべてにおいて、「その気持ちを想像する」ことで、さまざまな学びが統合され、つながりが見えてくると思いませんか。そして、いろんな人や生き物、あらゆるものの気持ちを感じることができる人になるって、ステキだと思いませんか。